

科目名	国語表現法 I		担当者名	安枝美乃(ヤスエダヨシノ)	
開講年次	1	開講時期	前期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	必修	単位数	2
ナンバリング	A0021	該当DP	DP1,DP4	実務経験	
授業概要	日本語によって表現するための基礎・基本の力を習得させることを中心的目的とする。前期では特に「話すこと」を中心に、理論的・実践的に指導する。毎回漢字、四字熟語、ことわざ等の宿題を課し、テストを行う。				
到達目標	1. 現代のことばの問題点に気付くことができる。 2. わかりやすく話をするができる。 3. 3分間程度のスピーチをすることができる。 4. 正しい敬語を身につけることができる。 5. 適切な電話の応対ができる。 6. 面接対策を通して自らをきちんと表現することができる。				
授業計画	回	授業内容		授業外学習（内容と時間）	
	1	ことばの機能		→新聞のことばとニュースのことばの違いを考えてくる	60分
	2	発声と発音		→活舌練習をする	60分
	3	アクセント・イントネーション・プロミネンス		→問題を解く	60分
	4	原稿の読み方		→原稿読みの練習	60分
	5	現代のことばの問題点 1		→調べる	60分
	6	現代のことばの問題点 2		→調べる	60分
	7	わかりやすい話の構成 1		→問題を解く	60分
	8	わかりやすい話の構成 2		→問題を解く	60分
	9	自己紹介・自己PRのしかた		→書く	60分
	10	敬語のポイント 1		→問題を解く	60分
	11	敬語のポイント 2		→問題を解く	60分
	12	電話の応対		→問題を解く	60分
	13	スピーチのしかた		→原稿を書く	60分
	14	面接の心得		→問題を解く	60分
	15	まとめ		試験勉強	180分
教科書	なし。毎回「ワークシート」を配布し、それに沿って授業していく。				
参考書	樺島忠夫『文章作法辞典』『文章構成法』				
成績評価	方法	割合	備考		
	前期試験の得点	60%	毎回配布する漢字プリント15枚含む。テスト結果は返却しない。		
	出席	20%	毎回必ず出席すること。		
	提出物	20%	毎回必ず提出すること。評価をつけて返却する。		
履修上の注意	大学生、さらには社会人として身につけておくべき音声表現の基礎・基本を指導します。国語に関する一般常識も盛り込み、実践的に一人一人丁寧に指導します。また、人前で話すことは、社会人として避けて通ることができません。できるだけ人前で話す機会を設け、細かく指導していきます。授業時に使用したプリントは毎回回収し添削します。				
オフィスアワー	16:30以降		メールアドレス	iwatayoshino@gmail.com	